



慰霊の千羽鶴 海を越えドイツへ 肥沼信次博士の命日にあわせヴリーツェン市に送付

第二次世界大戦終戦直後のドイツで伝染病患者の治療に尽力し、八王子市とドイツ・ヴリーツェン市との友好交流協定締結のきっかけとなった、本市出身の医師・故肥沼信次博士。肥沼博士の命日（3月8日）にあわせ、市民の皆さんが折った千羽鶴5,000羽を送付します。

千羽鶴は、博士の母校である第三小学校のほか、松木中学校や、ヴリーツェン市の聖ヨハニッター校と姉妹校提携を結んでいる八王子学園八王子中学校・高等学校の児童・生徒、博士の功績に感銘を受けた市民の皆さんが、心を込めて折ったものです。

千羽鶴は、市長親書と子どもたちのメッセージを添えてヴリーツェン市のイルム市長に送られ、肥沼博士の墓前に供えられます。

- 1 送付日 2月17日（金）
- 2 送付先 ドイツ・ヴリーツェン市
- 3 千羽鶴等制作協力

Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会
八王子市立第三小学校 児童
八王子市立松木中学校 生徒
八王子学園八王子中学校・高等学校 生徒
もりやまさすけ
森谷昌祐氏



◆5,000羽の千羽鶴とメッセージ

<問い合わせ>

市民活動推進部多文化共生推進課長 中野目 電話042-620-7437